

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農地費 目：農村総合整備事業費

事業名 用排水路・河川落差解消支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農地整備課 総合整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3187)

E-mail：c11431@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,700 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	0
要求額	6,700	0	0	0	0	0	6,700	0	0
決定額	6,700	0	0	0	0	0	6,700	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農村地域における水田と農業用排水路と接続する河川までの間、段差等の障害により、魚類の移動に必要な連続性が失われている。

このため、“緑豊かな「清流の国ぎふ」づくり”における施策の1つである“自然生態系の保全・再生”を推進するため、「水みちづくり」として河川～農業排水路～水田の面的な連続性を確保することで、生物多様性や本県の恵まれた水環境を保全する。

(2) 事業内容

既存の水路内の落差 (段差) を解消し、本来の河川から水路上流まで魚が往来できる水みちの連続性を確保することで、生態系保全効果 (魚類種や魚類生息数の増加) を発現させるとともに、水田において環境配慮米として農業者メリットの発現を期待するもの。

- ・河川－農地における生態系ネットワーク解析技術の開発と事業効果の検証・・・1,823千円
- ・落差解消工事補助金・・・4,877千円（落差解消工 N＝2箇所）

岐阜地域

(3) 県負担・補助率の考え方

県：100%（森林環境税事業）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,877	落差解消に必要な工事費等を市町村等が行う経費 河川－農地における生態系ネットワーク解析技術の開発と事業効果の検証に伴う経費
賃金	797	
共済費	3	
旅費	111	
需用費	281	
役務費	317	
委託料	310	
使用料	4	
合計	6,700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

■ ぎふ農業・農村基本計画アクションプログラム（農業農村整備部門）

Ⅲ) 農村の維持・活性化

2) 清流を守り伝える取り組みの推進

① 水生生物の生息空間の改善

- ・農業用排水路に生息する生物の生息域を広げるため、排水路内や河川との落差解消など、県土整備部との協働による水みち連携を推進する。

事務事業評価調書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
次期森林・環境基金事業の実施期間（平成29年度～令和3年度）中に、県内で5地区（1地区/年）の「水みちづくり」を実施し、河川～農業排水路～水田の面的な連続性を確保する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移			現在値	目標	達成率
水みちづくり <目標値>	-地区 (H28)	1地区 (H29)	1地区 (H30)	1地区 (R1)	3地区 (R1)	5地区 (R3)	60%
水みちづくり <実績値>	(H)	0地区 (H29)	1地区 (H30)	0地区 (R1)	1地区 (R1)	(R)	40%

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
令和元年度において、4地区で推進部会（県関係機関・市町村・地元組織等）を開催し、連続性の支障となる落差の解消に向けた会議を行っている。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
令和元年度は1地区の落差解消実施予定をしていたが、設計委託業務の入札が不落となり、実績は0となった。
今後は早期発注等の対策を行うとともに、実施箇所の再確認を行い推進する。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
（評価） ○	自然生態系の保全・再生を推進するため、「水みちづくり」の必要性は高い。また本事業によって既存の水路内の落差（段差）を解消することで、本来の河川から水路上流まで魚が往来できる水みちの連続性を確保し、魚類の絶滅リスクの軽減や生息個体数の増加が期待される。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：期待した効果がある、△：一定の効果がある、×：期待した効果がほとんどない 	
（評価） ○	水みちの連続性確保のための取組が活性化され、地域一体となった落差解消に向けた整備が期待されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある、×：効率化が図られていない 	
（評価） ○	本事業により生物多様性や本県の恵まれた水環境の保全が期待される。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>水みちの連続性確保に必要となる落差（段差）解消に係る関連事業の連携は今後も必要となるため、継続的な取り組みが必要とされる。また魚類等の生物多様性を確認するため、生態系ネットワークの解析技術を要する。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>自然生態系の保全と再生に資する「水みちづくり」のため、関係機関と連携を図り、水みちの連続性確保や生態系ネットワークの解析技術を開発に取り組む必要があり、「清流の国ぎふづくり」を推進するための重要な取り組みであることを理解して頂き、本事業への協力をお願いしていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------